

平成26年度 事業計画書

自 平成26年4月1日

至 平成27年3月31日

東京都中央区築地3丁目11番6号

(一財) 日本モーターサイクルスポーツ協会 (MFJ)

I. 事業方針

本会は、わが国におけるモーターサイクリススポーツを統轄し代表する団体として、モーターサイクリススポーツの普及振興を図り、もって国民の心身の健全な発達に寄与する目的を達成するため、本年度は以下の基本方針に基づき事業を推進する。

■重点項目は下記とする。

- ・ 主要競技会の活性化
- ・ モーターサイクリススポーツを支える層の拡大（年少者／女性／愛好者）
- ・ アジア地域との連携
- ・ 社会的認知の向上（メディア露出の拡大）
- ・ 安全／環境対策

II. 事業内容

1. 競技会

1) 競技会主催事業

主催競技会（施設との共同主催含む）を14大会開催する。

2) 競技会公認・承認事業

規定に基づき全国の競技会・講習会を公認または承認する。(約500大会予定)

3) 主要競技会日程

主要競技会の公平を維持する為、必要に応じて審査委員長等を派遣する。

(1) ロードレース

①世界選手権／国際競技会／特別競技会 全大会MFJ共催／文部科学省後援／観光庁後援

開催日	格式	大会名	会場
7月24日～27日	世界耐久選手権	JICA-鈴鹿8時間耐久レース	鈴鹿サーキット
8月15日～17日	国際選手権	FIMアジア選手権ロードレース日本大会	オートポリス
9月5日～9月7日	国際選手権	FIMアジア選手権ロードレース日本大会	鈴鹿サーキット
10月10日～12日	世界選手権	MotoGP日本グランプリ	ツインリンクもてぎ

② 全日本選手権 (全8戦) 全大会MFJと共催/文部科学省後援/観光庁後援

日程		会場	開催方式			
			JSB	GP2	ST600	GP3
4月13日	第1戦	鈴鹿2&4	○			
4月27日	第2戦	オートポリス	○	○	◎	○
5月25日	第3戦	もてぎ	○	○	○	◎
6月29日	第4戦	SUGO	○	○	○	○
8月24日	第5戦	もてぎ2&4		○		
9月14日	第6戦	オートポリス2&4	○			
9月28日	第7戦	岡山国際	○	○	○	○
11月2日	第8戦	鈴鹿 MFJ-GP	◎	○	○	○

※◎は1大会2レース制 (ST600/GP3はレース数維持の為)

(2) モトクロス

①全日本選手権 (全9戦)

	日程	会場		日程	会場
第1戦 九州	4月6日	HSR九州	第6戦 東北	8月3日	ｽｰﾊﾟｰﾗﾝﾄﾞ SUGO
第2戦 関東	4月20日	ﾌﾞﾙｰﾄﾞﾚｯｼﾞ	第7戦 近畿	9月14日	名阪ｽｰﾊﾟｰﾗﾝﾄﾞ
第3戦 中国	5月11日	ｸﾞﾘｰﾝﾊﾟｰｸ弘楽園	第8戦 中国	10月5日	ｸﾞﾘｰﾝﾊﾟｰｸ弘楽園
第4戦 SUGO	6月8日	ｽｰﾊﾟｰﾗﾝﾄﾞ SUGO	第9戦	10月26日	ｽｰﾊﾟｰﾗﾝﾄﾞ SUGO
第5戦 東北	7月20日	藤沢ｽｰﾊﾟｰﾗﾝﾄﾞ	MFJGP		

※ 最終戦MFJ-GPはMFJ共催/文科省後援/観光庁後援

②モトクロス全国大会 (文科省後援・観光庁後援)

ｼﾞｭﾆｱ・国内 A/B 級の全国選抜大会を東北地区 (SUGO) にて8月3日に開催。

(3) トライアル

① 世界選手権トライアル MFJ共催・文科省後援・観光庁後援

4月26日/27日 世界選手権日本グランプリ 会場: ツインリンクもてぎ

② 全日本選手権 (全7戦)

	日程	会場		日程	会場
第1戦 関東	3月9日	真壁トライアルﾗﾝﾄﾞ	第5戦 中国	9月7日	原瀧山TRパーク
第2戦 近畿	4月20日	名阪ｽｰﾊﾟｰﾗﾝﾄﾞ	第6戦 中部	10月12日	ｷｮｯﾁｲﾝﾄﾞﾗｲﾊﾞｰﾗﾝﾄﾞ
第3戦 九州	5月11日	ﾌｧｰﾙﾄﾞ幸楽 (山口)	第7戦 東北	10月26日	SUGO
第4戦 北海道	7月20日	わっさむサーキット			

③ トライアルランドチャンピオン大会

国内A級以下の全国大会を11月9日 スポーツランドSUGOにて開催

(4) その他の競技

①全日本スノーモビル選手権 (全5戦)

※開催は2014年1月～3月

	日程	会場		日程	会場
第1戦	1月26日	新潟(胎内)	第4戦	2月16日	北海道(士別)
第2戦	2月2日	長野(斑尾)	第5戦	3月2日	北海道(美瑛)
第3戦	2月9日	北海道(真狩)			

②全日本スーパーモタード選手権 (全7戦)

	日程	会場		日程	会場
第1戦	4月27日	美浜(愛知)	第5戦	8月24日	SUGO(宮城)
第2戦	5月18日	琵琶湖SP(滋賀)	第6戦	9月21日	HSR九州(熊本)
第3戦	6月22日	It's(福島)	第7戦	10月12日	名阪(奈良)
第4戦	7月13日	TSカブ(広島)	第8戦	11月16日	茂原(千葉)

④全日本エンデューロ選手権 (全4戦)

	日程	会場
第1戦 中国	5月18日	テージャスランチ(広島)
第2戦 近畿	7月27日	プラザ坂下(大阪)
第3戦 北海道	9月20～21日	日高(北海道)
第4戦 東北	11月22～23日	SUGO(宮城)

(5) 全日本選手権ランキング表彰式

全日本選手権各種目のランキング上位3名を表彰する式典を下記にて開催する。

開催日：平成26年12月20日(土) ※暫定 場所：東京・日経ホール

(6) 競技用車両・部品・用品の公認事業

競技会の公平性・安全性を維持する為、規定に基づき所定の要件を満たした競技車両・部品・用品を公認する。

(7) 競技施設の公認事業

競技施設の安全性を維持する為、規定に基づき所定の要件を満たした施設を公認する。

(8) サービス事業(競技運営用備品・用品の販売等)

- ・主催者に対し競技運営に必要な備品・用品・テキスト等を製作し販売を行う
- ・公認用品製作/販売会社に製品に貼付する公認を証するマークを販売する。
- ・規定に基づき参加者の昇格申請手数料、希望競技番号料等を受け付ける。

(9) 会員登録

- ・個人会員の申請受付・登録・会員証発送作業を行う(WEB申請・郵送申請)
- ・特別会員・賛助会員・プレス会員の申請受付・登録作業を行う。

Ⅲ. 普及事業

1. 年少者／女性／

1) MF Jロードレースアカデミー in MOTEGI

主催：（一財）日本モーターサイクルスポーツ協会

会場：栃木県・ツインリンクもてぎ。 期間：2014年4月～9月

年間7回（9日間）、年間参加（18歳以下）とスポット参加（年齢問わず、車両持込）とし、年少者だけでなく初心者を受け入れ、底辺の拡大を計る。

2) MF Jトライアルアカデミー

主催：（一財）日本モーターサイクルスポーツ協会

会場：茨城県・真壁トライアルランド（9回）、栃木県・ツインリンクもてぎ（1回）

期間：2014年9月～15年2月 募集定員：20名 年少者（9歳以上）女性（年齢問わず） 成人男性（年齢問わず）

3) レディースロードレース。

①会場をもてぎに移し年間3回・講習会3回（模擬レース含む）を開催する。

2014年度開催スケジュール・会場：ツインリンクもてぎ			
	第1回	第2回	第3回
講習会・	5月5日（月・祝）	7月5日（土）	11月3日（月祝）
レース開催日	5月25日（日）	7月12日（土）	11月9日（日）

4) ミニバイク大会

ミニバイク／ポケバイとの連携を目的にイベント開催予定

5) その他オフロード系にてスクールやイベントを開催予定。

Ⅳ. 広報対策

会員、メディア・販売店・一般への情報を内容に応じて下記媒体を活用し効率的に発信する。

- 1) 会員ならびに一般への情報発信はホームページに集約、加えて会員へのメール配信で必要な情報をダイレクトに送信する。
- 2) 全日本モトクロスは専用HPを活用し広報活動を行う。
- 3) 専門誌だけでなく一般メディアも対象に情報発信を強化し露出の拡大を図る。
- 4) メディア懇談会を開催し連携を図り、ご意見を頂き、告知協力を依頼する。
- 5) ネットワークショップ検索システムを活用する
- 6) モーターサイクルショー等で主要競技と普及イベント告知をHP／小冊子等の手段で行う。

- 7) 国内競技規則書の発行（年間 1 回）※ J K A 補助金事業
- 8) 後半戦の主要競技会の見どころを中心とするフリーペーパーを作成（6 月発行）
- 9) プロモーション事業
 - ・ 全日本ロードレース／モトクロス全戦の放映（無料 B S 放送・ B S 12 毎週月曜夜 8 時）
 - ・ 全日本ロードレースのインターネット動画ライブ配信
 - ・ 専用ホームページ「superbike.jp」による情報発信
 - ・ メディア向けのシリーズ概要資料作成・配布
 - ・ 東京モーターサイクルショー等への出展・広報
 - ・ 若手育成のユースカップ奨励賞設定
 - ・ ファンクラブ（スーパーバイクスポーツ）の運営

V. 安全・環境対策

- 1) 規定に基づき所定の基準を満たした競技施設の公認（必要に応じて査察）
- 2) 規定に基づき所定の基準を満たした装備品の公認
- 3) 装備の基準策定と推奨（マウスガード推奨、エアバッグベスト義務化に向け検討）
- 4) 全日本モトクロス全戦で医療用品の持ち回り。
- 5) 環境整備委員会にて事故再発防止を主眼とする事故調査
- 6) モータースポーツライセーシング機構（LSO）に加盟。
- 7) ロードレースにおけるサーキットアドバイザー制度の補助。（随時）
- 8) 観客安全対策の強化。（ネット・コーステープ・立ち入り禁止表示等支援）
- 9) インストラクター養成事業の継続ならびに、競技役員セミナー等で人材育成を行う。
- 10) ドーピングコントロールの実施
 - 全日本ロードレース・モトクロス・トライアルで年間各 1 回検査を実施する。
 - ※スポーツ振興基金助成事業

VI. 組織について

1. 地域組織について

- 1) 加盟団体の業務委託形態について母体である日本二普協と協議し進める。
- 2) 日本二普協の協力を得て全日本選手権等主要イベントの集客向上を目指す。
- 3) 全日本モトクロスの持続可能な運営形態を協議する。
- 4) M F J ネットワークショップ加入促進活動を行う。
- 5) 加盟団体会長・事務局長会議を定期的開催する。

2. 中央組織について

- 1) 中央スポーツ委員会の役割を変更し方針を定める機能を持たせ、各専門委員会は方針に基づき具体的施策を立案・実施する役割を持たせ、役割に応じた構成に改編する。

VII. 国際対策

- 1) 国際モーターサイクリズム連盟（以下 FIM という）、FIM アジア協会への加盟、連絡、調整
- 2) F I M 総会・F I M アジア総会へ委員及び事務局員の派遣。
- 3) F I M 規則の翻訳
- 4) F I M ライセンスの発行
- 5) FIM 世界選手権の運営に求められる主要競技役員の資格認定の為、F I M 競技役員セミナーを開催、または派遣。
- 6) 代表選手派遣
 - ・ アジア国別対抗ロードレース等に日本代表チームを派遣する。<日程未定>
 - ・ 国別対抗世界選手権の代表チームの選抜と認定
- 7) 国内で開催される世界選手権・国際選手権等に関する連絡・調整・運営
- 8) アジア国別対抗ロードレースの開催 ツインリンクもてぎ 8 月
- 9) その他国際交流の促進

VIII. 補助金事業

1. (公財) J K A オートレース
 - 国内競技規則書（平成 27 年版）
 - 交付申請額 6,916,000 円
 - 内 定 額 : 2,542,000 円
2. 独立行政法人日本スポーツ振興センター「スポーツ振興くじ助成事業」
 - 平成 26 年度ドーピングコントロール
 - 交付申請額 3,419,346 円
 - 内 定 額 : 3,077,000 円

IX. その他の事業

- 1) 諸会議の開催
 - MFJ のスポーツ事業を円滑に推進するために必要に応じて諸会議を開催する。
 - ・理事会（6 月/12 月/3 月）・評議員会（3 月/6 月）加盟団体会議
 - ・中央スポーツ委員会・技術委員会・専門委員会・部会
- 2) スポーツ安全保険
 - ・会員のスポーツ安全保険加入管理業務を行う。
 - ・受傷時の確認作業・保険会社への連絡等業務を行う。
 - ・スポーツ傷害基金の残務処理を行う(支払い期限終了まで)

3) 競技会管理システムの開発

・主催者/MFJ 間の競技会申請書類と報告書類を電子化するシステムの開発に着手する。

競技会申請：H 2 6 年 11 月から開始するH27 年度競技会申請より開始予定。

競技会報告：H 2 7 年 4 月から稼働目標。

4) エンジョイ会員と承認競技の活性化

以下対策により、承認競技を増やしエンジョイ会員を拡大する活動を行う。

① 2015 年よりエンジョイ会員の会費を改定（安価設定）

② 賠償責任保険など承認競技とすることによる万一の場合の補償を説明

5) 競技以外の一般ライダーを対象とした会員制度の検討

一般ライダーを対象に既存会員制度を持つ企業と連携し特典を設け組織化をする方向で

リサーチと準備作業を開始し、可能であれば 2015 年から実施する。

6) ライセンス取得講習会制度の見直しを行い、講習会主催者が開催しやすく、より多くの講習会

の実施を促進する。

以上